

令和5年度 河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(河川生態) 研究開発テーマ  
 <一般研究:移行評価結果>

テーマおよび概要		研究代表者名	評価	審議結果
テーマ	気候変動及び流域治水シナリオに基づく生物多様性の評価とハビタット管理手法の提案	名古屋工業大学 萱場 祐一	b	令和5年度一般研究として採択する。
概要	流域治水は、1)流域(堤内地)での貯留空間の増大に伴う陸水環境の再生、2)河道分担流量の抑制による河道への過度な人為インパクトの回避、3)掘削方法の工夫による河川環境の保全・創出に、繋がる可能性がある。本研究では1)～3)を検討し、流域治水が生物多様性の損失回避・向上に資する程度を評価するとともに、生物多様性保全の視点から流域治水の進め方に関する基本的な考え方を提案する。			

評価の凡例

- a: 研究目的は達成された十分な研究成果であった
- b: 研究目的は概ね達成された研究成果であった
- c: 一定の研究成果であった
- d: 研究成果があったとは言い難い